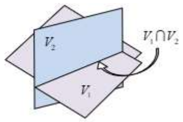
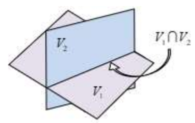
「読むだけでわかる数学再入門 線形代数編」正誤表 印刷ミス　　2021.02.01現在

	頁	行	誤	正
1	21	定義14 上から2 定義14の枠と文章	文章の折り返し 絵と重なっている ■定義14 内積 ベクトル**a**および**b**の内積とは， $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}$と書き，その定義は， 3次元ベクトルが, $\mathbf{a}=(a_1,a_2,a_3)^T$, $\mathbf{b}=(b_1,b_2,b_3)^T$ の場合 1）要素による定義： $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}=a_1b_1+a_2b_2+a_3b_3$ (1.2.6-3) 2）幾何的な定義： $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}=\lVert\mathbf{a}\rVert\lVert\mathbf{b}\rVert\cos\theta$ (1.2.6-4) 内積の定義が2通りあるんすね！ **図1.2.6-2** ベクトルの内積 です，$\lVert\mathbf{a}\rVert$および$\lVert\mathbf{b}\rVert$はそれぞれ，ベクトル**a**とベクトル**b**の長さL^2ノルムであり， $L^2:\lVert\mathbf{a}\rVert=\sqrt{a_1^2+a_2^2+a_3^2}$, $\lVert\mathbf{b}\rVert=\sqrt{b_1^2+b_2^2+b_3^2}$ (1.2.6-5) であり，また，θはベクトル**a**とベクトル**b**とがなす角である（**図1.2.6-2**参照）． このように，内積の結果がスカラーなので，スカラー積（*scalar product,*）とも言います． すなわち，$\lVert\mathbf{a}\rVert\lVert\mathbf{b}\rVert\cos\theta$ は，**a**の大きさ$\lVert\mathbf{a}\rVert$にベクトル**b**のベクトル**a**に対する射影である	「ベクトル**a**および**b**の内積とは，**a**・**b** と書き，その定義は」で改行 ■定義14 内積 ベクトル**a**および**b**の内積とは， $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}$と書き，その定義は， 3次元ベクトルが, $\mathbf{a}=(a_1,a_2,a_3)^T$, $\mathbf{b}=(b_1,b_2,b_3)^T$ の場合 1）要素による定義： $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}=a_1b_1+a_2b_2+a_3b_3$ (1.2.6-3) 2）幾何的な定義： $\mathbf{a}\cdot\mathbf{b}=\lVert\mathbf{a}\rVert\lVert\mathbf{b}\rVert\cos\theta$ (1.2.6-4) 内積の定義が2通りあるんすね！ **図1.2.6-2** ベクトルの内積 である，$\lVert\mathbf{a}\rVert$および$\lVert\mathbf{b}\rVert$はそれぞれ，ベクトル**a**とベクトル**b**の長さL^2ノルムであり， $L^2:\lVert\mathbf{a}\rVert=\sqrt{a_1^2+a_2^2+a_3^2}$, $\lVert\mathbf{b}\rVert=\sqrt{b_1^2+b_2^2+b_3^2}$ (1.2.6-5) であり，また，θはベクトル**a**とベクトル**b**とがなす角である（**図1.2.6-2**参照）． このように，内積の結果がスカラーなので，スカラー積（*scalar product,*）とも言います． すなわち，$\lVert\mathbf{a}\rVert\lVert\mathbf{b}\rVert\cos\theta$ は，**a**の大きさ$\lVert\mathbf{a}\rVert$にベクトル**b**のベクトル**a**に対する射影である
2	24	上から1	文字が薄いベクトル表示と文字が重なっている	$\vec{DC}$は **a**, $\vec{BC}$は **b**である
3	141	定義49 上から1	字下げ	定義**49**
4	169	図4.1.7-1	図のずれ 	
5	171	下から8	これら式	これらの式
6	172	上から3	式のずれ いて， $\angle QAI=\angle RAI$である。	いて， $\angle QAI=\angle RAI$ である
7	176	下から7	式のずれ と言うと$\lVert\mathbf{a}+\mathbf{b}\rVert_2\le\lVert\mathbf{a}\rVert_2+\lVert\mathbf{b}\rVert_2$ の証明	と言うと，$\lVert\mathbf{a}+\mathbf{b}\rVert_2\le\lVert\mathbf{a}\rVert_2+\lVert\mathbf{b}\rVert_2$ の証明
8	197	下から7	場合ですすなわ	場合です．すなわ
9	198	上から9	式ずれ 固有値λ	固有値λ
9	217	下から7	かけて加えた	かけて，加えた
10	219	上から5	式のずれ 換言すれば，$(a_{1t},\cdots a_{rt})^T$は行列	換言すれば，$(a_{1t},\cdots a_{rt})^T$は行列
11	230	式5.3.2-5の下から2	そうすでね	そうですね
12	248	上から7	的変数）の間	的変数）y との間
13	265	（2）の上	であることは	で，求める面の方程式であることは
14	枠 下から1	主な著書	「読むだけでわかる数学再入門 線形代数編」 準備中 インデックス社	「読むだけでわかる数学再入門 微分・積分編」インデックス社